

値上げをせず、水道料金や施設使用料は管内の中間維持を考えての改正であり、機械的ではない。

随意契約の公表

中島里司 議員

入札結果についてはすでに公表されているが、随意契約は公表されていない。随意契約の手続きについてはまったく見えず、契約の透明性を高めるためにも、法の根拠を含め公表すべきと思うが、その考え方を伺う。

高薄町長

現在、公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律に基づき、予定価格が130万円以上の建設工事及び50万円以上の建設工事に伴う測量などの委託業務を対象に入札内容を公表しているが、随意契約の公表は現在行っていない。契約の透明性の確保等の観点から、住民がいつでも見れる、知ることができると

考え、新年度導入に向けて検討していきたい。

使用料改正の考え方

中島里司 議員

3年周期で改正が当然のごとく今議会に提案されているが、今でも利用者の思いを無視した不公平感のある料金設定が、今回の改正によりますます大きくなっている。3年での改正は、アップ額を少しずつ町民に負担を願うとのことでもあったと思うが、今回も何の工夫もなく、行政側の事情だけで提案されていることに大きな疑問を持つ。改正の基本的な考え方を伺う。

高薄町長

3年に一度の改正については、以前、大きく町民負担が出たことから、使用料の審査特別委員会で、町民生活に直接的に影響を及ぼす使用料については、できるだけ町民負担の軽減を図るため、3年程度を目安とし、段階的

に引き上げを行うべきではないかとの議論を基にしている。

受益者同士の格差ということでは、施設ごとの料金設定について、面積や用途によって内部の検討委員会で検討した結果である。

町内商工業者の振興

山岸政彦 議員

長引く不況の影響で町内の商工業者は大変厳しい状況にある。購買力の流出も続いており、役場における物品購入、建築土木工事の町内業者への発注率はどのようになっているのか。

高薄町長

これからの町内商工業者の振興策について、町長の考えを伺う。



町内の商工業は、不況の影響や購買の町外流出で厳しい状態が続いている

十勝圏における消防広域化

山岸政彦 議員

平成24年度のスタートを目指して消防広域化の準備が進められているが、現在の進捗状況はどうなっているのか。消防広域化によって、町民・消防団・消防署には、どんなメリット・デメリットが考えられるのか伺う。

高薄町長

消防の広域化は、関係部局で検討を重ね、市町村長会議に素案が出されたところで、年明けの2月に素案に基づき市町村長の統一した見解を示し、それに基づいて本格的な報告案が出されることになる。

消防署とのかかわりでは、現在、それぞれの町村長が割り当てをして予算を組み、その予算を消防本部に支出する自賄い方式で行っており、それは堅持したいと思うが、全十勝でそうなるかは定かでない。消防団

も本部がすべてを取り仕切ることではできないため、今と同じ自賄い方式でいくべきと思うが、最終的な決定はしていない。

子どもの育成、問題は総合的に

奥秋康子 議員

高薄町政は、機構改革により大課制を導入して数年が経過した。今定例会の追加提案で新たな課を設置することだが、次の点について伺う。

①子育て支援課は、少子化対策としても大変意義があると思うが、目的と役割は。

②子育て支援課の位置付けと期待される効果は。

③子育て支援課を設置すること、役場内の子どもに関連する事業の一元化と、横断的な取り組みが必要となるが、職員が意思統一はどのように周知されるのか。

高薄町長

①家庭を持つ前の教育が